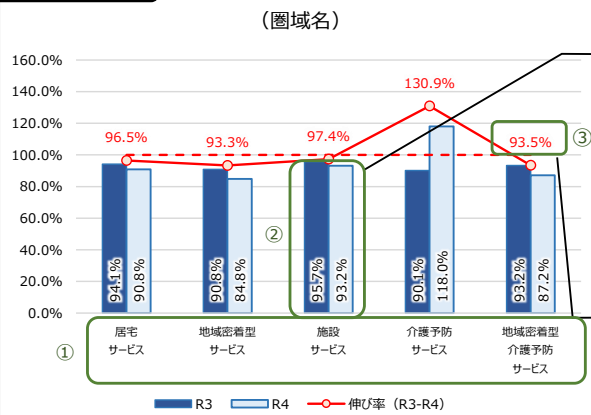


グラフの見方

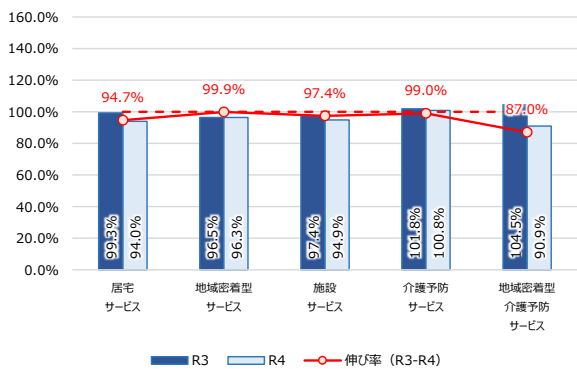


各年の目標（利用見込）に対する実績を割合で表示
 (例：R3見込 900回/月 実績861回/月 → 95.7%)
 R4見込1,000回/月 実績932回/月 → 93.2%)
 ※各年の目標（利用見込）は高齢者人口の増加に伴って8期中は概ね増加している
 利用見込の少ない圏域では、サービス利用者の発生等、当初と少数の差異であつても大きな割合となる（例：南檜山圏域の地密型介護予防サービスなど）

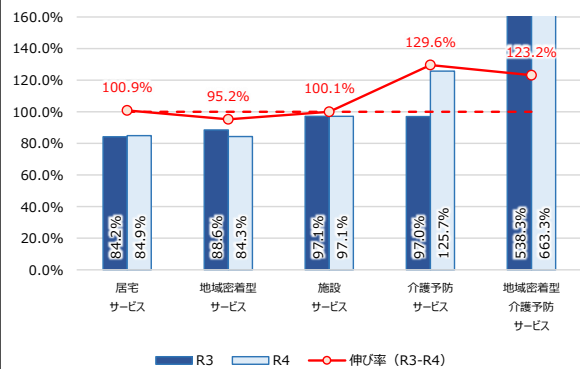
R3とR4の実績割合を比較した伸び率を表示
 (例：R4 87.2% / R3 93.2% → 93.5%)
 ○ 100%以下となっている場合の主な要因
 ・ R4目標の増加ほど利用実績が増加しなかった（目標R3 < R4 実績R3 = R4）
 ・ R4利用実績が減少した（目標R3 = R4 実績R3 > R4）
 ○ 100%以上となっている場合の主な要因
 ・ R4目標の増加以上に利用実績が増加した（目標R3 < R4 実績R3 < R4）
 ・ R4利用実績が増加した（目標R3 = R4 実績R3 < R4）

調査結果

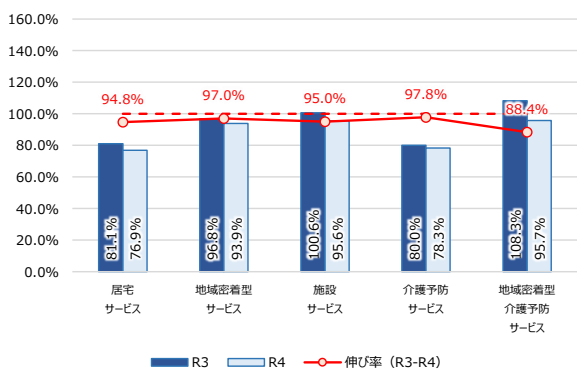
南渡島圏域



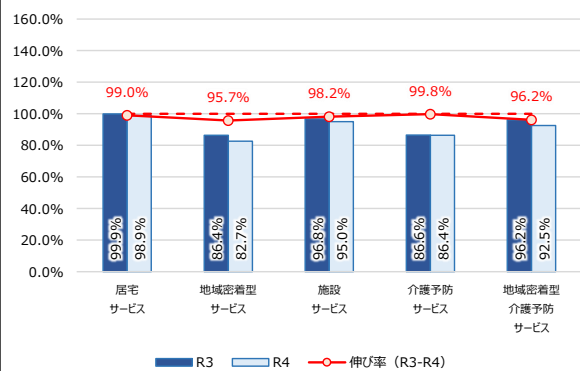
南檜山圏域



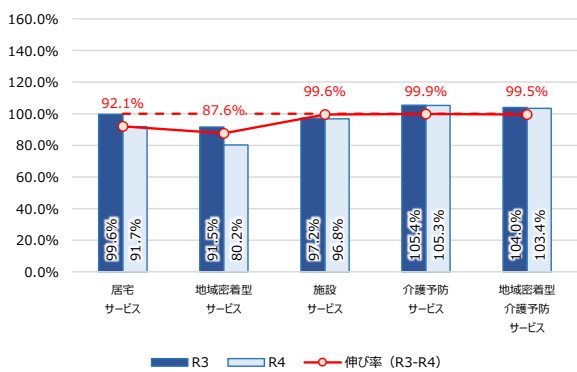
北渡島檜山圏域



札幌圏域



後志圏域



南空知圏域

